

地域におけるチャレンジ・ネットワーク環境整備推進事業研究報告書

京 都 府

1. 事業の全体像	【事業名】 女性チャレンジネット整備事業 【地域連絡協議会名】 京都府女性チャレンジネットワーク会議 【協議会事務局】 府民労働部女性政策課・京都府女性総合センター 【ネットワーク参加機関】 <別添 1> 【実践の経過及び概要】 (1) 女性チャレンジネットワーク会議の開催 ア. 会議の開催状況 <別添 2> ○平成 16 年 6 月 28 日 ~ 平成 17 年 3 月 28 日 計 6 回開催 第 4 回、第 5 回会議は分野別に 3 つの部会を設け開催。 イ. ネットワーク構築に当たり工夫した点 ○具体的な支援の検討を行う中で、ネットワークを構成する団体が男女共同参画の推進の必要性を理解し、その視点に立って各種の事業に取り組んでいけるよう、府男女共同審議会の学識者に会議に出席いただき意見をもらった。
2. 女性チャレンジ支援関係事業	(1) チャレンジ支援ネットワークを活かし、複数の機関が連携して行った事業 ア. 「女性のチャレンジハンドブック」「女性のチャレンジサイト」の作成 <別添 3> 連携機関：女性チャレンジネットワーク会議の構成団体全て 連携事業の具体的な内容 ○目標 京都府におけるロールモデルの収集、紹介と、女性チャレンジ支援関連情報の一元的提供を、ハンドブック及びインターネットサイト上で行う。 ○役割分担等 チャレンジネットワーク会議の構成団体毎に、起業、就業、市民活動（ボランティア・NPO）、農林水産の各分野でロールモデルの選定、支援情報等の収集を行い、これをハンドブック及びインターネットサイトとして取りまとめた。 ○継続運用 インターネットサイト上に講座、セミナー等のイベントカレンダーを掲載し、各団体の最新情報の随時提供を可能にした。 イ. 「女性チャレンジ相談」を中心に、他団体の専門相談との連携、引き継ぎ方法を検討した。 <別添 4> 連携機関：女性チャレンジネットワーク会議の構成団体全て 連携事業の具体的な内容 ○目標 各団体の相談窓口の専門性を活かし、相互に速やかな引継が可能となるよう調整を図った。 ○役割分担等 第 2 回ネットワーク会議（7 月 28 日）において相談体制の連携について検討し、相談窓口担当者連絡会（11 月 24 日）では担当者による情報交換を行った。

	○継続運用 「紹介状」による相談機関間の引継等の連携は17年度以降も継続して実施。 ウ．女性チャレンジシンポジウムの開催　＜別添5＞ 連携機関名： チャレンジネットワーク会議構成団体全て NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク、NPO法人きょうとNPOセンターはパネリストとして参加 具体的内容： ○目標 起業、NPO、地域活動などで活躍する方々の講演及びパネルディスカッションにより、女性チャレンジの気運醸成を図る。 ○内容と役割分担等 平成16年10月17日　京都テルサホールで開催 講演「私とチャレンジ」 京都府出身の女性起業家　広野道子氏による講演 パネルディスカッション コーディネーター：チャレンジ支援推進事業企画委員会座長　鹿嶋敬氏 パネリスト：チャレンジネットワーク会議のメンバーで実施 起業・NPOをテーマとし、ネットワーク会議の構成団体により更に広い層への広報を展開した。
3．事業の成果及び今後の課題	(1) 事業全体の成果 各団体が実施する相談事業、講座・セミナーを相互に把握することで、これまで不十分であった連携について検討する機会となった。 相談窓口間の「紹介状」(引継書フォーム)の運用や、相談者の段階(初歩から専門的へ等)に応じた相談窓口の分担、講座・フォーラムの実施について検討し、その連携の成果をチャレンジ相談等にフィードバックする体制ができた。 (2) 今後の課題 京都府北部地域等、府内各地域における関係団体のネットワークによる支援の取り組みの検討 平成17年度から京都府北部地域等で「女性チャレンジ相談」の巡回相談を開始する。 「チャレンジオフィス」入居者への支援。　＜別添6＞ 平成17年度から京都府女性総合センターにおいてインキュベーションルームを設置し起業、NPO立ち上げ期の支援を開始する。 学生の占める割合の多い京都府の特性を活かし、女子学生の支援のため大学等との連携の可能性を検討する。
4．備　考	
5．担当部課等	(所在地)京都市上京区下立売通新町西入 (部課名)京都府府民労働部女性政策課 (担当者)杉本圭哉、矢野淳

<別添1>

女性チャレンジネットワーク会議 構成メンバー

	分野	関係機関名
1	雇用	京都労働局
2		財団法人 21世紀職業財団
3		若年者就業支援センター
4	能力開発	独立行政法人 雇用・能力開発機構
5	起業・コミュニティ ビジネス	京都商工会議所
6		財団法人 京都産業21
7	農林水産	京都府農業会議
8	NPO	特定非営利活動法人 きょうとNPOセンター
9		特定非営利活動法人 働きたいおんなたちのネットワーク
10	ボランティア	社団法人 京都府社会福祉協議会（地域福祉・ボランティア振興課）
11	福祉人材	〃（福祉人材・研修センター）
12	母子支援	〃（母子家庭等自立支援センター）
13	地域女性センター	京都市女性総合センター（ウイングス京都）
14		京都府婦人教育会館
15	府男女共同参画 審議会委員	伊藤 公雄
16		小濱 隆嗣
17		横内るり子
18	事務局	京都府女性政策課
19		京都府女性総合センター

<別添2>

女性チャレンジネットワーク会議の開催状況

	日 時	検 討 内 容
第1回会議	6月28日	○女性のチャレンジ支援の必要性及びチャレンジネットワーク会議の趣旨説明 ○構成団体の事業実施内容の紹介
第2回会議	7月28日	○各団体の相談事業における課題と連携について
第3回会議	8月20日	○各団体の相談事業における課題と連携について(続き) ○各団体の講座・セミナー事業における課題と連携について
第4回会議	10月 5日 10月 7日 10月14日	起業・NPO部会 就業部会 農林・ボランティア部会 ○「チャレンジハンドブック」及び「チャレンジサイト」作成について。(全体の構成、役割分担等)
第5回会議	1月21日 1月28日	起業・NPO部会、農林・ボランティア部会合同開催 就業部会 ○「チャレンジハンドブック」及び「チャレンジサイト」の内容の取りまとめ
第6回会議	3月28日	○平成17年度の取り組みについて ・チャレンジサイトの運用 ・チャレンジインキュベーション入居者への支援について

< 別添 6 >

女性チャレンジオフィスの整備について

1 趣旨、目的

京都府女性総合センターに「女性チャレンジオフィス」を整備し、準備段階や設立間もない段階の起業、NPOに対して支援を行い、既存の支援策では十分対応できない起業等ニーズに応え、潜在化してしまっている女性の起業ニーズを実現し、地域経済における男女共同参画の推進と地域の活性化を図る。

2 実施内容

入居数	6グループ
提供設備	専用部分；インターネット・電話回線敷設、事務用デスク 共用部分；会議デスク、共用プリンター・FAX設置 等
入居対象	起業、NPOの創業を目指す（又は創業間もない）女性（又は女性中心のグループ）。特に、次のような活動を目指すものを優先 女性の起業・NPO立上げ、就業、キャリアアップ等を支援するもの 社会貢献性、地域貢献性があり、将来性・発展性のあるもの
入居期間	最長3年
利用料 （月額）	1,500円/㎡程度（専用部分） → 各社6,000円/月程度 *ネットワーク経費等に充当
所要経費	2,000千円（内訳）パーテーション等設置1,000千円、配線、照明等600千円、備品購入400千円
入居者へのサポート	・ チャレンジネットワーク会議参加機関の連携による専門的支援（京都産業21、京都商工会議所、きょうとNPOセンター等との連携） ・ チャレンジ相談員によるアドバイス、各種情報提供 ・ 先輩起業家との交流会の開催等、起業、NPO創業についての総合的支援